Copyright © 2012 NTT DATA INTRAMART CORPORATION

↑Top

目次

- 1. 改訂情報
- 2. はじめに
  - 2.1. 概要
  - 2.2. 前提条件
  - 2.3. 移行ツールのインストール
- 3. データ移行
  - 3.1. データのバックアップ
  - 3.2. 移行実施
- 4. エラーが発生した場合
  - 4.1. エラーの確認方法
  - 4.2. 再実行手順
  - 4.3. エラー一覧
- 5. 制限事項一覧
  - 5.1. 移行対象
  - 5.2. 移行注意点
  - 5.3. 設定ファイル(migration.properties)
  - 5.4. 掲示板
  - 5.5. スケジュール／施設
  - 5.6. ファイルライブラリ

改訂情報

変更年月日	変更内容
2012-11-01	初版
2013-10-01	第2版　下記を追加・変更しました ▪ 中間ファイル抽出・取込実行時の引数指定方法を追加
2014-04-01	第3版　下記を追加・変更しました ▪ 「*前提条件* 」-「移行対象ISPバージョン」を変更
2014-08-01	第4版　下記を追加・変更しました ▪ 「*前提条件* 」-「移行対象ISPバージョン」を変更
2014-12-01	第5版　下記を追加・変更しました ▪ 「*設定ファイルの編集* 」の設定内容に注意事項を追加
2015-08-01	第6版　下記を追加・変更しました ▪ 「*前提条件* 」に注意事項を追加

はじめに

項目

- 概要
- 前提条件
- 移行ツールのインストール

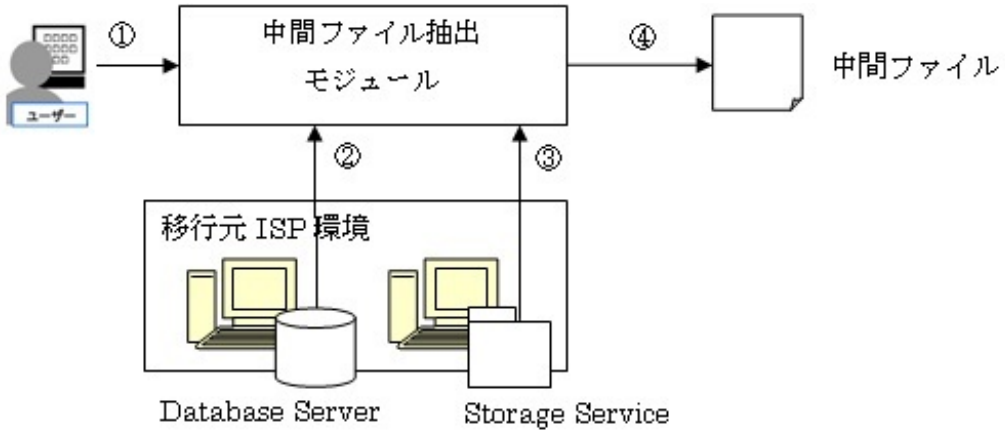
概要

本ドキュメントは、 イントラネット・スタートパック (Ver.6.0～Ver.7.1) (以下 ISP)で使用していた関連情報を、 intra-mart Accel Collaboration (Ver.8.0) (以下 iAC)へ移行する際の移行手順について記述します。

このバージョンの移行ツールは、「 intra-mart Accel Collaboration (Ver.8.0) 」に対する移行ツールになります。

本ツールは、以下の処理を実行します。

- 中間ファイル出力



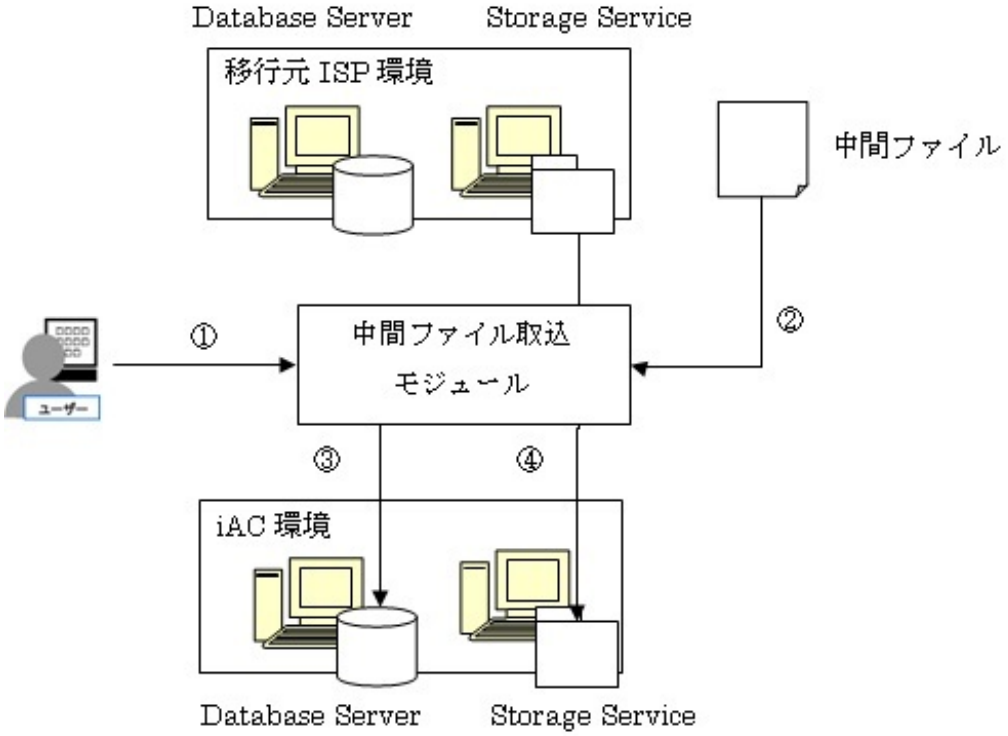
①. 中間ファイルの抽出を実行します。

②. 移行元ISP 環境のデータベースから対象のデータを取得します。

③. Storage Service から移行元のファイルパスを取得します。

④. 取得した対象のデータをファイル出力します。

- 中間ファイル取込



①. 中間ファイルの取込を実行します。

②. 中間ファイル抽出で出力した中間ファイルを取得します。

③. 中間ファイルの内容をiAC 環境のデータベースへ登録します。

④. 中間ファイルの指定に従い、移行元ISP 環境からiAC 環境のStorage Service へ添付ファイルをコピーします。

前提条件

- 本移行ツールは、初期移行を対象としています。
  データベース、ファイルストレージに初期データ以外のデータ、ファイルが存在しないことを前提とします。
  また、本移行ツールは、移行元ISP 環境から中間ファイルを出力する機能と、中間ファイルをiAC 環境に登録する機能から構成されます。
- iAC環境でテナント環境セットアップをする際に、「テナント環境情報画面」で必ず「ストレージパス」の値を入力してテナント環境セットアップを実行してください。
- 弊社、動作検証済み環境を以下に示します。

条件項目	対応規格
OS	▪ Microsoft Windows 2008 Server R2 ▪ Red Hat Enterprise Linux 6.2
Java ランタイム	▪ Java Development Kit 6.0 Update 31 以上

> **コラム**
> 本移行ツールは Java で動作します。環境変数 PATH に JDK のPathを通している必要があります。

intra-mart WebPlatform / intra-mart AppFramework を、以下、IWP と略します。

以下の作業につきましては、 IWP 、ISP のインストールフォルダ及びデータベースのバックアップを必ずとってから、作業を行うようにしてください。
移行に関する詳細は販売店または弊社営業までお問い合わせください。

- ISP 移行対象データ
  ISP 移行対象データを以下に示します。

  1. 掲示板
     カテゴリ・種別、記事、添付ファイル
  2. スケジュール／施設
     施設グループ・施設分類、施設、添付ファイル(施設の画像のみ。スケジュールの添付ファイルは該当しません。)
  3. ドキュメント管理
     フォルダ、ドキュメント、添付ファイル

- 移行対象ISPバージョン
  移行元ISP は下記バージョンを対象とします。
  - ISP v6.0.9
  - ISP v6.1.7 － v6.1.9
  - ISP v7.0.6 － v7.0.7
  - ISP v7.1.2 － v7.1.5

移行ツールのインストール

- ダウンロードした圧縮ファイル(iAC_migration.zip)を、任意のフォルダに展開します。
  Windows の場合は任意のZIP 解凍ツールで解凍してください。 RedHat またはSolaris の場合は以下のコマンドで解凍することが可能です。

```
# unzip iAC_migration.zip
```

> **コラム**
> 本移行ツールは、移行先の環境へインストールしてご利用ください。
> また、移行先に iAP、 iAC がインストールされている前提です。

> **コラム**
> 以降、移行ツールのルートディレクトリを <% IM_HOME %> と表記します。

- 移行ツールと ISP 、 iAC のインストール先サーバが異なる場合、 異なるインストール先のフォルダに対して、ネットワークドライブ(ネットワーク共有マウント)を指定します。

> **コラム**
> 添付ファイルの移行の際に必要になりますので、移行ツールから、 ISP 、 iAC の両方のインストール先に対してアクセス可能である必要があります。

- JDBCドライバを入手します。

> **注意**
> 接続先DBに応じて、適切なJDBCドライバを選択してください。

  - OracleのJDBCドライバは次のURLよりダウンロードできます。

    http://www.oracle.com/

  - PostgreSQLのJDBCドライバは次のURLよりダウンロードできます。

    http://jdbc.postgresql.org

  - SQL ServerのJDBCドライバは次のURLよりダウンロードできます。

    http://www.microsoft.com

- JDBCドライバのダウンロード後、次のフォルダにコピーします。

```
<% IM_HOME %>/lib
```

データ移行

項目

- データのバックアップ
- 移行実施
  - 設定ファイルの編集
  - 移行データ抽出
  - 移行データ取込

データのバックアップ

移行元で使用していた環境のバックアップを取得します。
バックアップ対象は以下の通りです。

・ データベース
　データベースのデータのバックアップについては、各データベースのマニュアルを参照してください。
・ Storage Serviceをインストールしたフォルダ/storageフォルダ以下をバックアップします。

移行実施

ここでは、移行ツールの実行手順について記述します。

- 設定ファイルの編集
- 移行データ抽出
- 移行データ取込

設定ファイルの編集

ご利用の環境に合わせて、以下の移行ツール設定ファイル(<% IM_HOME %>/conf/migration.properties)を編集します。

- 設定ファイル定義

設定項目	設定内容
IspVersion	移行元ISP のバージョンを指定します。 例) IspVersion = 6.0

設定項目	設定内容
IspDBDriver	移行元DBのJDBCドライバを指定します。 Oracleの場合： oracle.jdbc.pool.OracleConnectionPoolDataSource SQLServerの場合： com.microsoft.jdbc.sqlserver.SQLServerDriver PostgreSQLの場合：org.postgresql.Driver ※ご利用のDBに合わせて1つのみ有効にしてください。
IspConnStr	移行元DBの接続先URLを指定します。 例) IspConnStr = jdbc：oracle：thin： @xxx.xxx.x.xxx：1521：orcl
IspUserID	移行元DBのユーザIDを指定します。 例) IspUserID = isp_iko01
IspPassWord	移行元DBのパスワードを指定します。 例) IspPassWord = isp_iko01
IspDBCharacterStringCode	移行元DBの文字コードを指定します。 例) IspDBCharacterStringCode = UTF-8
IspStorageServiceRootPath	移行元のStorageServiceルートパスを設定します。 例) IspStorageServiceRootPath = X:/storage ※パスの指定に「￥」を使用できません。「/」を使用してください。
IacDBDriver	移行先DBのJDBCドライバを指定します。 Oracleの場合： oracle.jdbc.pool.OracleConnectionPoolDataSource SQLServerの場合： com.microsoft.jdbc.sqlserver.SQLServerDriver PostgreSQLの場合：org.postgresql.Driver ※ご利用のDBに合わせて1つのみ有効にしてください。
IacConnStr	移行先DBの接続先URLを指定します。 例) IacConnStr = jdbc：oracle：thin： @xxx.xxx.x.xxx：1521：orcl
IacUserID	移行先DBのユーザIDを指定します。 例) IacUserID = isp_iko02
IacPassWord	移行先DBのパスワードを指定します。 例) IacPassWord = isp_iko02
IacDBCharacterStringCode	移行先DBの文字コードを指定します。 例) IacDBCharacterStringCode = UTF-8

設定項目	設定内容
IacStorageServiceRootPath	移行先のStorageServiceルートパスを設定します。 ※パスの指定に「￥」を使用できません。「/」を使用してください。 ※移行実行時には、必ずパスの設定を行ってください。 ■ 移行先iACのバージョンが8.0.5以前である場合 IacStorageServiceRootPath = {PATH}/public {PATH}にはストレージ設定ファイルに設定したパスを指定します。 詳しくは「ストレージ設定ファイル」を参照してください。 例) IacStorageServiceRootPath = C:/tmp/storage/public ■ 移行先iACのバージョンが8.0.6以降である場合 IacStorageServiceRootPath = {PATH} {PATH}にはテナントのストレージパスを指定します。 例) IacStorageServiceRootPath = C:/tmp/storage
IacInformationReadManagementYMD	掲示板既読移行テーブルの管理開始日を指定します。 例) IacInformationReadManagementYMD = 2000/01/01
IacTenantID	移行先のテナントIDを指定します。 例) IacTenantID = sampletenant1
IacLoginGroupID	移行元のログイングループIDを指定します。 例) IacLoginGroupID = default
IacCompanyCode	移行先の会社コードを指定します。 例) IacCompanyCode = samplecompany1
IacTimeZoneID	タイムゾーンIDを指定します。 例) IacTimeZoneID = Asia/Tokyo
IacLocaleID	ロケールIDを指定します。 例) IacLocaleID = ja
IacSystemStartDate	移行先システム開始日時(yyyy/MM/dd|HH:mm:ss形式) 例) IacSystemStartDate = 2000/01/01|00:00:00
IacSystemEndDate	移行先システム終了日時(yyyy/MM/dd|HH:mm:ss形式) 例) IacSystemEndDate = 3000/01/01|00:00:00

設定項目	設定内容
IacInformationMaxRecord	インフォメーション中間ファイル抽出機能における最大レコード出力数(ファイル分割単位)を指定します。 例) IacInformationMaxRecord = 10000
IacInformationMaxCategory	インフォメーション中間ファイル抽出機能における最大インフォメーションカテゴリ単位ディレクトリ数(ディレクトリ分割単位)を指定します。 例) IacInformationMaxCategory = 10000
IacInformationMaxArticle	インフォメーション中間ファイル抽出機能における最大インフォメーションカテゴリ単位別記事ディレクトリ数(ディレクトリ分割単位)を指定します。 例) IacInformationMaxArticle = 10000
IacFilelibraryMaxRecord	ファイルライブラリ中間ファイル抽出機能における最大レコード出力数(ファイル分割単位)を指定します。 例) IacFilelibraryMaxRecord = 10000
IacFilelibraryMaxFolder	ファイルライブラリ中間ファイル抽出機能における最大ファイルライブラリフォルダ単位ディレクトリ数(ディレクトリ分割単位)を指定します。 例) IacFilelibraryMaxFolder = 10000
IacScheduleMaxRecord	スケジュール中間ファイル抽出機能における最大レコード出力数(ファイル分割単位)を指定します。 例) IacScheduleMaxRecord = 10000

移行データ抽出

以下の手順に従って、中間ファイル抽出を実行します。

注意

以下、ロックファイルが <% IM_HOME %> に存在する場合は、中間ファイル抽出を実行できません。
他の利用者が既に実行しているため、完了後に実行してください。

- **インフォメーション**
  lock_information.txt
- **スケジュール**
  lock_schedule.txt
- **ファイルライブラリ**
  lock_filelibrary.txt

- 中間ファイル削除

以下、中間ファイル抽出によって出力された中間ファイルを削除します。

- インフォメーション
  <% IM_HOME %>/data/information フォルダ
- スケジュール
  <% IM_HOME %> /data/schedule フォルダ
- ファイルライブラリ
  <% IM_HOME %> /data/filelibrary フォルダ

- 中間ファイル抽出

1. <% IM_HOME %>/lib フォルダに、環境に合うドライバを配置します。
   - Oracleの場合
     弊社ではOracle JDBC Driver 11.1.0.6.0 で動作試験をしております。
   - PostgreSQLの場合
     弊社ではPostgreSQL JDBC Driver 9.1-902 で動作試験をしております。
   - SQLServerの場合
     弊社ではsqljdbc4 で動作試験をしております。
2. 中間ファイル抽出を実行
   - 移行元がWindows

     以下のコマンドを実行します。
     - ディレクトリを移動

       ```
       # cd <% IM_HOME %>/Windows
       ```
     - 中間ファイル抽出を実行

       ```
       例)
       # iac_information_output.bat 第一パラメータ
       ```

       移行元の文字コードをbatファイルの第一パラメータとして指定します。

第一パラメータ	実行内容
CP932	CP932(SJIS)で中間ファイルを作成します。
MS932	MS932(Windows-31j)で中間ファイルを作成します。
UTF-8	UTF-8で中間ファイルを作成します。
EUC_JP	EUC_JPで中間ファイルを作成します。

第一パラメータ	実行内容
CP936	CP936(GB2312)で中間ファイルを作成します。
(上記の第一パラメータ以外の入力値)	第一パラメータの説明を表示します。

コラム

インフォメーション：iac_information_output.bat
スケジュール：iac_schedule_output.bat
ドキュメント：iac_filelibrary_output.bat

- 移行元がLinux

  以下のコマンドを実行します。

  - ディレクトリを移動

    ```
    # cd <% IM_HOME %>/Linux
    ```

  - 実行権限を付与

    ```
    例)
    # chmod +x iac_information_output.sh
    ```

  - 中間ファイル抽出を実行

    ```
    例)
    # ./iac_information_output.sh 第一パラメータ
    ```

    移行元の文字コードをshファイルの第一パラメータとして指定します。

第一パラメータ	実行内容
CP932	CP932(SJIS)で中間ファイルを作成します。
MS932	MS932(Windows-31j)で中間ファイルを作成します。
UTF-8	UTF-8で中間ファイルを作成します。
EUC_JP	EUC_JPで中間ファイルを作成します。
CP936	CP936(GB2312)で中間ファイルを作成します。
(上記の第一パラメータ以外の入力値)	第一パラメータの説明を表示します。

> **コラム**
>
> インフォメーション：iac_information_output.sh
> スケジュール：iac_schedule_output.sh
> ドキュメント：iac_filelibrary_output.sh

3. <% IM_HOME %>/data/information フォルダに、中間ファイルが出力されます。

以上で中間ファイルの作成は完了です。

移行データ取込

以下の手順に従って、中間ファイル取込を実行します。

> **注意**
>
> 以下、ロックファイルが <% IM_HOME %> に存在する場合は、中間ファイル取込を実行できません。
> 他の利用者が既に実行しているため、完了後に実行してください。
>
> - **インフォメーション**
>   lock_information.txt
> - **スケジュール**
>   lock_schedule.txt
> - **ドキュメント**
>   lock_filelibrary.txt

- 中間ファイル取込

1. 中間ファイル取込を実行
   - 移行先がWindows

     以下のコマンドを実行します。

     - ディレクトリを移動

       ```
       # cd <% IM_HOME %>/Windows
       ```

     - 中間ファイル取込を実行

       ```
       例)
       # iac_information_input.bat 第一パラメータ
       ```

       移行元の文字コードをbatファイルの第一パラメータとして指定します。

第一パラメータ	実行内容
CP932	CP932(SJIS)で中間ファイルを取り込みます。
MS932	MS932(Windows-31j)で中間ファイルを取り込みます。
UTF-8	UTF-8で中間ファイルを取り込みます。
EUC_JP	EUC_JPで中間ファイルを取り込みます。
CP936	CP936(GB2312)で中間ファイルを取り込みます。
(上記の第一パラメータ以外の入力値)	第一パラメータの説明を表示します。

コラム

インフォメーション：iac_information_input.bat
スケジュール：iac_schedule_input.bat
ドキュメント：iac_filelibrary_input.bat

- 移行先がLinux

  以下のコマンドを実行します。

  - ディレクトリを移動

    ```
    # cd <% IM_HOME %>/Linux
    ```

  - 実行権限を付与

    ```
    例)
    # chmod +x iac_information_input.sh
    ```

  - 中間ファイル取込を実行

    ```
    例)
    # ./iac_information_input.sh 第一パラメータ
    ```

    移行元の文字コードをshファイルの第一パラメータとして指定します。

第一パラメータ	実行内容
CP932	CP932(SJIS)で中間ファイルを取り込みます。

第一パラメータ	実行内容
MS932	MS932(Windows-31j)で中間ファイルを取り込みます。
UTF-8	UTF-8で中間ファイルを取り込みます。
EUC_JP	EUC_JPで中間ファイルを取り込みます。
CP936	CP936(GB2312)で中間ファイルを取り込みます。
(上記の第一パラメータ以外の入力値)	第一パラメータの説明を表示します。

コラム

インフォメーション：iac_information_input.sh
スケジュール：iac_schedule_input.sh
ドキュメント：iac_filelibrary_input.sh

2. iAC 環境に中間ファイルの情報が取り込まれます。

以上で中間ファイルの取り込みは完了です。

エラーが発生した場合

項目

- エラーの確認方法
- 再実行手順
- エラー一覧

エラーの確認方法

- 移行ツールの実行結果

  移行ツール実行中にエラーが発生した場合、たとえば、以下のように出力されます。 (2行目がエラー発生を示す行です)

```
2012-08-21 22:06:56,036  INFO I.IAC.MIGRATION.CORE.00003 Migration data input processing was started. (FunctionID=iac_information_input)
2012-08-21 22:06:56,436 ERROR E.IAC.MIGRATION.CORE.00009 Migration data does not exist.
2012-08-21 22:06:56,481  INFO I.IAC.MIGRATION.CORE.00004 Migration data input processing was completed. (FunctionID=iac_information_input,ElapsedTime=10Sec)
```

  > **コラム**
  > 移行ツールの実行結果は標準出力に出力されますが、その内容は <% IM_HOME %>/log/console.logにも保存されています。

- 実行結果の出力定義

  実行結果の出力内容は、スペースを区切り文字として、決められた形式で出力されます。出力形式を以下に示します。

項目位置	意味	説明
1	日付	出力日付(yyyy-MM-dd形式)。
2	時刻	出力時刻(HH:mm:ss，zzz形式)。
3	エラーレベル	出力の重大さを表す以下のキーワード。 - INFO ..情報。処理開始、終了などの通知情報。 - WARN ..警告。処理停止を伴わない軽微な異常。 - ERROR ..エラー。処理停止を伴う重大な異常。
4	エラーコード	出力内容を一意に特定するキー。

項目位置	意味	説明
以降	エラーメッセージ	出力内容を表すメッセージ。

- 出力内容に対する対応

  エラーが発生した場合は、出力内容に従って適切な対応を行ってください。個々のメッセージに対する対応方法については、*エラー一覧* を参照ください。

  また、対応後は、*再実行手順* を実施してください。

- 警告メッセージの対象行出力

  取込機能にて警告レベルのエラーが発生した場合、取り込みに失敗した該当行のみがlogフォルダに保存されます。

  > **コラム**
  > - インフォメーション中間ファイル取込機能の場合
  >   <% IM_HOME %>/log/information/[処理時刻(yyyyMMddHHmmss形式)]/[連番]_[トップカテゴリコード]/[中間ファイル名].err
  > - スケジュール中間ファイル取込機能の場合
  >   <% IM_HOME %>/log/schedule/[処理時刻(yyyyMMddHHmmss形式)]/[連番]_[トップカテゴリコード]/[中間ファイル名].err
  > - ファイルライブラリ中間ファイル取込機能の場合
  >   <% IM_HOME %>/log/filelibrary/[処理時刻(yyyyMMddHHmmss形式)]/[連番]_[トップカテゴリコード]/[中間ファイル名].err

再実行手順

- 中間ファイル抽出
  中間ファイル抽出にてエラーが発生した場合の再実行手順を以下に示します。

  1. 中間ファイル削除
     既に中間ファイルが存在する場合は、中間ファイルを削除します。

     > **コラム**
     > 機能ごとの中間ファイルは、以下に格納されています。
     > - インフォメーション
     >   <% IM_HOME %>/data/information
     > - スケジュール
     >   <% IM_HOME %>/data/schedule
     > - ファイルライブラリ

<% IM_HOME %>/data/filelibrary

2. 中間ファイル抽出
   中間ファイル抽出を実行します。手順については、*移行データ抽出* を参照してください。

- 中間ファイル取込
  中間ファイル取込にてエラーが発生した場合の再実行手順を以下に示します。

> **注意**
>
> PostgreSQL 環境では、中間ファイル取込でエラーとなった場合、エラーファイルには初めに
> エラーが発生した行のみ出力され、エラーが発生したトップカテゴリまたはトップフォルダ
> 単位での登録は、全てロールバックされます。

> **コラム**
> 中間ファイルの再取り込みについては、以下の2通りの方法が可能です。
>
> - 全て再取り込み
>   全ての中間ファイルを取り込み直します。
> - 差分のみ再取り込み
>   エラーとなった行のみ、取り込み直します。

- 全て取り込み
  中間ファイル上、取り込みに成功した行も含め全てを取り込みます。

1. 起動ファイルのパラメータ確認
   iAC 環境のデータを事前に削除するフラグにONが設定されているかを確認します。

> **コラム**
>
> 中間ファイル取込では、事前にiAC 環境のデータを削除するためのフラグが設けられています。
> 全てを取り込み直す場合は、事前にiAC 環境のデータを削除する必要があります。
>
> 以下、<% IM_HOME %>/Windows(またはLinux)に格納されている実行ファイルの設定を編集してください。
>
> 例）iac_information_input.bat
> set iac_migration_delete=ON

> **注意**
>
> 全てを取り込み直す場合、上記フラグにONが設定されていないと、先に取り込まれたデータと、
> 取り込み直したデータが重複してエラーとなる場合があります。

2. 添付ファイル削除
   移行先のStorageServiceに添付ファイルが存在する場合は、削除します。

3. 中間ファイル取込
   中間ファイル取込を実行します。手順については、*移行データ取込* を参照してください。

- 差分のみ取り込み
  中間ファイル上、取り込みに失敗した行のみ取り込みます。

1. 起動ファイルのパラメータ確認
   iAC 環境のデータを事前に削除するフラグにOFFが設定されているかを確認します。

> **コラム**
>
> 中間ファイル取込では、事前にiAC 環境のデータを削除するためのフラグが設けられています。
> 差分のみ取り込み直す場合は、事前にiAC 環境のデータを削除する必要がありません。
>
> 以下、<% IM_HOME %>/Windows(またはLinux)に格納されている実行ファイルの設定を編集してください。
>
> 例）iac_information_input.bat
> set iac_migration_delete=OFF

2. 中間ファイル作成
   差分のみ取り込むための中間ファイルを作成します。

> **コラム**
>
> 中間ファイル取込失敗時に出力される、エラーファイルを編集することで、差分のみ取り込む際に使用する
> 中間ファイルとして再利用することが可能です。
>
> エラーファイルは、<% IM_HOME %>/log/ の配下にある機能ごとのフォルダ内に格納されています。
>
> 例）iac_information_input.bat
> set iac_migration_delete=ON

3. 中間ファイル取込
   中間ファイル取込を実行します。手順については、*移行データ取込* を参照してくださ

い。

エラーー覧

- エラーメッセージ一覧

エラーコード	エラーメッセージ	対応方法
E.IAC.MIGRATION.CORE.00001	A configuration file read error.	設定ファイルを確認してください。
E.IAC.MIGRATION.CORE.00002	A starting parameter read error.	起動パラメータを確認してください。
E.IAC.MIGRATION.CORE.00003	A database connection error.	ネットワークの接続または、データベースの設定を確認してください。

エラーコード	エラーメッセージ	対応方法
E.IAC.MIGRATION.CORE.00004	Since processing is already performing, it is interrupted.	実行中の処理が完了するまで待ってから実行してください。
E.IAC.MIGRATION.CORE.00005	A setup of a DELETE flag has an error.	起動パラメータを確認してください。
E.IAC.MIGRATION.CORE.00006	F_iac_attachment_count output error.	実行ユーザの権限または、ディスクのサイズを確認してください。

エラーコード	エラーメッセージ	対応方法
E.IAC.MIGRATION.CORE.00007	IAC_ATTACHMENT_COUNT insert error. (FileName=%ファイル名%)	ネットワークの接続または、データベースの設定を確認してください。
E.IAC.MIGRATION.CORE.00008	System error.	予期せぬ例外です。例外メッセージを確認してください。

エラーコード	エラーメッセージ	対応方法
E.IAC.MIGRATION.CORE.00009	Migration data does not exist.	取込対象の移行データが存在するか確認してください。
E.IAC.MIGRATION.SCHEDULE.00001	F_iac_fac_category output error.	実行ユーザの権限または、ディスクのサイズを確認してください。

エラーコード	エラーメッセージ	対応方法
E.IAC.MIGRATION.SCHEDULE.00002	F_iac_fac_category_inc output error.	実行ユーザの権限または、ディスクのサイズを確認してください。
E.IAC.MIGRATION.SCHEDULE.00003	F_iac_fac_facility output error.	実行ユーザの権限または、ディスクのサイズを確認してください。

エラーコード	エラーメッセージ	対応方法
E.IAC.MIGRATION.SCHEDULE.00004	An attached file does not exist. (Key=%主キー%)	移行元の添付ファイルが存在するか確認してください。
E.IAC.MIGRATION.SCHEDULE.00005	IAC_FAC_CATEGORY delete error.	ネットワークの接続または、データベースの設定を確認してください。

エラーコード	エラーメッセージ	対応方法
E.IAC.MIGRATION.SCHEDULE.00006	IAC_FAC_CATEGORY_INC delete error.	ネットワークの接続または、データベースの設定を確認してください。
E.IAC.MIGRATION.SCHEDULE.00007	IAC_FAC_FACILITY delete error.	ネットワークの接続または、データベースの設定を確認してください。

エラーコード	エラーメッセージ	対応方法
E.IAC.MIGRATION.SCHEDULE.00008	Failed to get TOP_CATEGORY_CD.	ネットワークの接続または、データベースの設定を確認してください。
E.IAC.MIGRATION.SCHEDULE.00009	Failed to get ISPM_FACILITY_GROUP.	ネットワークの接続または、データベースの設定を確認してください。

エラーコード	エラーメッセージ	対応方法
E.IAC.MIGRATION.SCHEDULE.00010	Failed to get ISPM_FACILITY_GROUP_INCLUSION.	ネットワークの接続または、データベースの設定を確認してください。
E.IAC.MIGRATION.SCHEDULE.00011	Failed to get ISPM_FACILITY.	ネットワークの接続または、データベースの設定を確認してください。
E.IAC.MIGRATION.SCHEDULE.00012	Failed to get user name.(UserCd=%ユーザコード%)	ユーザ情報を確認してください。

エラーコード	エラーメッセージ	対応方法
E.IAC.MIGRATION.INFORMATION.00001	F_iac_inf_category output error.	実行ユーザの権限または、ディスクのサイズを確認してください。
E.IAC.MIGRATION.INFORMATION.00002	F_iac_inf_category_inc output error.	実行ユーザの権限または、ディスクのサイズを確認してください。

エラーコード	エラーメッセージ	対応方法
E.IAC.MIGRATION.INFORMATION.00003	F_iac_inf_article output error.	実行ユーザの権限または、ディスクのサイズを確認してください。
E.IAC.MIGRATION.INFORMATION.00004	F_iac_inf_art_attach output error.	実行ユーザの権限または、ディスクのサイズを確認してください。

エラーコード	エラーメッセージ	対応方法
E.IAC.MIGRATION.INFORMATION.00005	F_iac_inf_art_read output error.	実行ユーザの権限または、ディスクのサイズを確認してください。
E.IAC.MIGRATION.INFORMATION.00006	An attached file does not exist. (Key=%主キー%)	移行元の添付ファイルが存在するか確認してください。

エラーコード	エラーメッセージ	対応方法
E.IAC.MIGRATION.INFORMATION.00007	IAC_INF_CATEGORY delete error.	ネットワークの接続または、データベースの設定を確認してください。
E.IAC.MIGRATION.INFORMATION.00008	IAC_INF_CATEGORY_INC delete error.	ネットワークの接続または、データベースの設定を確認してください。

エラーコード	エラーメッセージ	対応方法
E.IAC.MIGRATION.INFORMATION.00009	IAC_INF_ARTICLE delete error.	ネットワークの接続または、データベースの設定を確認してください。
E.IAC.MIGRATION.INFORMATION.00010	IAC_INF_ART_ATTACH delete error.	ネットワークの接続または、データベースの設定を確認してください。

エラーコード	エラーメッセージ	対応方法
E.IAC.MIGRATION.INFORMATION.00011	IAC_INF_ART_READ delete error.	ネットワークの接続または、データベースの設定を確認してください。
E.IAC.MIGRATION.INFORMATION.00012	Failed to get TOP_CATEGORY_CD.	ネットワークの接続または、データベースの設定を確認してください。

エラーコード	エラーメッセージ	対応方法
E.IAC.MIGRATION.INFORMATION.00013	Failed to get ISPM_BULLETIN_CLS.	ネットワークの接続または、データベースの設定を確認してください。
E.IAC.MIGRATION.INFORMATION.00014	Failed to get ISPM_BULLETIN_CLS_INCLUSION.	ネットワークの接続または、データベースの設定を確認してください。

エラーコード	エラーメッセージ	対応方法
E.IAC.MIGRATION.INFORMATION.00015	Failed to get ISPT_BULLETIN_INFO.	ネットワークの接続または、データベースの設定を確認してください。
E.IAC.MIGRATION.INFORMATION.00016	Failed to get ISPT_BULLETIN_FILE_REFERENCE.	ネットワークの接続または、データベースの設定を確認してください。

エラーコード	エラーメッセージ	対応方法
E.IAC.MIGRATION.INFORMATION.00017	Failed to get ISPT_BULLETIN_INFO_READ.	ネットワークの接続または、データベースの設定を確認してください。
E.IAC.MIGRATION.INFORMATION.00018	Failed to get user name.(UserCd=%ユーザコード%)	ユーザ情報を確認してください。
E.IAC.MIGRATION.INFORMATION.00019	Failed to get department name.(UserCd=%ユーザコード%)	ユーザに紐付く組織情報を確認してください。

エラーコード	エラーメッセージ	対応方法
E.IAC.MIGRATION.FILE.00001	F_iac_fil_folder output error.	実行ユーザの権限または、ディスクのサイズを確認してください。
E.IAC.MIGRATION.FILE.00002	F_iac_fil_folder_inc output error.	実行ユーザの権限または、ディスクのサイズを確認してください。

エラーコード	エラーメッセージ	対応方法
E.IAC.MIGRATION.FILE.00003	F_iac_fil_file output error.	実行ユーザの権限または、ディスクのサイズを確認してください。
E.IAC.MIGRATION.FILE.00004	IAC_FIL_FILE delete error.	ネットワークの接続または、データベースの設定を確認してください。

エラーコード	エラーメッセージ	対応方法
E.IAC.MIGRATION.FILE.00005	IAC_FIL_FOLDER delete error.	ネットワークの接続または、データベースの設定を確認してください。
E.IAC.MIGRATION.FILE.00006	IAC_FIL_FOLDER_INC delete error.	実行ユーザの権限または、ディスクのサイズを確認してください。

エラーコード	エラーメッセージ	対応方法
E.IAC.MIGRATION.FILE.00007	An attached file does not exist. (Key=%主キー%)	移行元の添付ファイルが存在するか確認してください。
E.IAC.MIGRATION.FILE.00008	Failed to get TOP_FOLDER_CD.	ネットワークの接続または、データベースの設定を確認してください。

エラーコード	エラーメッセージ	対応方法
E.IAC.MIGRATION.FILE.00009	Failed to get ISPM_DOCUMENT_FOLDER.	ネットワークの接続または、データベースの設定を確認してください。
E.IAC.MIGRATION.FILE.00010	Failed to get ISPM_DOCUMENT_FOLDER_INCLUSION.	ネットワークの接続または、データベースの設定を確認してください。

エラーコード	エラーメッセージ	対応方法
E.IAC.MIGRATION.FILE.00011	Failed to get ISPT_DOCUMENT.	ネットワークの接続または、データベースの設定を確認してください。
W.IAC.MIGRATION.SCHEDULE.00001	F_iac_fac_category insert error. (FileName=%ファイル名%,RowNo=%行数%,Key=%主キー%)	ネットワークの接続または、中間ファイルが存在することを確認してください。

エラーコード	エラーメッセージ	対応方法
W.IAC.MIGRATION.SCHEDULE.00002	F_iac_fac_category_inc insert error. (FileName=%ファイル名%,RowNo=%行数%,Key=%主キー%)	ネットワークの接続または、中間ファイルが存在することを確認してください。
W.IAC.MIGRATION.SCHEDULE.00003	F_iac_fac_facility insert error. (FileName=%ファイル名%,RowNo=%行数%,Key=%主キー%)	ネットワークの接続または、中間ファイルが存在することを確認してください。

エラーコード	エラーメッセージ	対応方法
W.IAC.MIGRATION.SCHEDULE.00004	File size has a difference.(FileName=%ファイル名%,RowNo=%行数%,Key=%主キー%)	移行元と移行先の添付ファイルのファイルサイズを確認してください。
W.IAC.MIGRATION.SCHEDULE.00005	Transmission of a file went wrong.(FileName=%ファイル名%,RowNo=%行数%,Key=%主キー%)	実行ユーザの権限または、ディスクのサイズを確認してください。

エラーコード	エラーメッセージ	対応方法
W.IAC.MIGRATION.SCHEDULE.00006	category_cd of IAC_FAC_CATEGORY_INC for registration does not exist in IAC_FAC_CATEGORY.(FileName=%ファイル名%,RowNo=%行数%,Key=%主キー%)	施設カテゴリ内包のカテゴリコードが施設カテゴリに存在するか確認してください。
W.IAC.MIGRATION.SCHEDULE.00007	facility_cd of IAC_FAC_FACILITY for registration does not exist in IAC_FAC_CATEGORY.(FileName=%ファイル名%,RowNo=%行数%,Key=%主キー%)	施設のカテゴリコードが施設カテゴリに存在するか確認してください。

エラーコード	エラーメッセージ	対応方法
W.IAC.MIGRATION.SCHEDULE.00008	F_iac_fac_category format error. (FileName=%ファイル名%,RowNo=%行数%)	中間ファイルの内容を確認してください。
W.IAC.MIGRATION.SCHEDULE.00009	F_iac_fac_category_inc format error. (FileName=%ファイル名%,RowNo=%行数%)	中間ファイルの内容を確認してください。
W.IAC.MIGRATION.SCHEDULE.00010	F_iac_fac_facility format error. (FileName=%ファイル名%,RowNo=%行数%)	中間ファイルの内容を確認してください。
W.IAC.MIGRATION.SCHEDULE.00011	All the topcategory data was rollbacked.(TopCategory=%トップカテゴリ%)	中間ファイルの内容を確認してください。

エラーコード	エラーメッセージ	対応方法
W.IAC.MIGRATION.SCHEDULE.00012	An attached file does not exist. (Key=%主キー%)	移行元の添付ファイルが存在するか確認してください。（DBの抽出処理は行われます）
W.IAC.MIGRATION.SCHEDULE.00013	An attached file does not exist. (FileName=%ファイル名%,RowNo=%行数%,Key=%主キー%)	移行元の添付ファイルが存在するか確認して下さい。（DBの取込処理は行われます）

エラーコード	エラーメッセージ	対応方法
W.IAC.MIGRATION.INFORMATION.00001	F_iac_inf_category input error. (FileName=%ファイル名%,RowNo=%行数%,Key=%主キー%)	ネットワークの接続または、中間ファイルが存在することを確認してください。
W.IAC.MIGRATION.INFORMATION.00002	F_iac_inf_category_inc input error. (FileName=%ファイル名%,RowNo=%行数%,Key=%主キー%)	ネットワークの接続または、中間ファイルが存在することを確認してください。

エラーコード	エラーメッセージ	対応方法
W.IAC.MIGRATION.INFORMATION.00003	F_iac_inf_article input error. (FileName=%ファイル名%,RowNo=%行数%,Key=%主キー%)	ネットワークの接続または、中間ファイルが存在することを確認してください。
W.IAC.MIGRATION.INFORMATION.00004	F_iac_inf_art_attach input error. (FileName=%ファイル名%,RowNo=%行数%,Key=%主キー%)	ネットワークの接続または、中間ファイルが存在することを確認してください。

エラーコード	エラーメッセージ	対応方法
W.IAC.MIGRATION.INFORMATION.00005	F_iac_inf_art_read input error.(FileName=%ファイル名%,RowNo=%行数%,Key=%主キー%)	ネットワークの接続または、中間ファイルが存在することを確認してください。
W.IAC.MIGRATION.INFORMATION.00006	File size has a difference.(FileName=%ファイル名%,RowNo=%行数%,Key=%主キー%)	移行元と移行先の添付ファイルのファイルサイズを確認してください。

エラーコード	エラーメッセージ	対応方法
W.IAC.MIGRATION.INFORMATION.00007	Transmission of a file went wrong. (FileName=%ファイル名%,RowNo=%行数%,Key=%主キー%)	実行ユーザの権限または、ディスクのサイズを確認してください。
W.IAC.MIGRATION.INFORMATION.00008	An attached file does not exist. (FileName=%ファイル名%,RowNo=%行数%,Key=%主キー%)	移行元の添付ファイルが存在するか確認してください。（DBの取込処理は行われます）

エラーコード	エラーメッセージ	対応方法
W.IAC.MIGRATION.INFORMATION.00009	category_cd of IAC_INF_CATEGORY_INC for registration does not exist in IAC_INF_CATEGORY.(FileName=%ファイル名%,RowNo=%行数%,Key=%主キー%)	インフォメーションカテゴリ内包のカテゴリコードがインフォメーションカテゴリに存在するか確認してください。

エラーコード	エラーメッセージ	対応方法
W.IAC.MIGRATION.INFORMATION.00010	article_cd of IAC_INF_ARTICLE for registration does not exist in IAC_INF_CATEGORY.(FileName=%ファイル名%,RowNo=%行数%,Key=%主キー%)	記事のカテゴリコードがインフォメーションカテゴリに存在するか確認してください。
W.IAC.MIGRATION.INFORMATION.00011	article_cd of IAC_INF_ART_ATTACH for registration does not exist in IAC_INF_ARTICLE.(FileName=%ファイル名%,RowNo=%行数%,Key=%主キー%)	記事添付の記事コードが記事に存在するか確認してください。

エラーコード	エラーメッセージ	対応方法
W.IAC.MIGRATION.INFORMATION.00012	article_cd of IAC_INF_ART_READ for registration does not exist in IAC_INF_ARTICLE.(FileName=%ファイル名%,RowNo=%行数%,Key=%主キー%)	記事既読の記事コードが記事に存在するか確認してください。
W.IAC.MIGRATION.INFORMATION.00013	F_iac_inf_category format error.(FileName=%ファイル名%,RowNo=%行数%)	中間ファイルの内容を確認してください。
W.IAC.MIGRATION.INFORMATION.00014	F_iac_inf_category_inc format error.(FileName=%ファイル名%,RowNo=%行数%)	中間ファイルの内容を確認してください。

エラーコード	エラーメッセージ	対応方法
W.IAC.MIGRATION.INFORMATION.00015	F_iac_inf_article format error. (FileName=%ファイル名%,RowNo=%行数%)	中間ファイルの内容を確認してください。
W.IAC.MIGRATION.INFORMATION.00016	F_iac_inf_art_attach format error. (FileName=%ファイル名%,RowNo=%行数%)	中間ファイルの内容を確認してください。
W.IAC.MIGRATION.INFORMATION.00017	F_iac_inf_art_read format error. (FileName=%ファイル名%,RowNo=%行数%)	中間ファイルの内容を確認してください。
W.IAC.MIGRATION.INFORMATION.00018	All the topcategory data was rollbacked.(TopCategory=%トップカテゴリ%)	中間ファイルの内容を確認してください。

エラーコード	エラーメッセージ	対応方法
W.IAC.MIGRATION.INFORMATION.00019	An attached file does not exist. (Key=%主キー%)	移行元の添付ファイルが存在するか確認してください。（DBの抽出処理は行われます）
W.IAC.MIGRATION.FILE.00001	F_iac_fil_folder input error. (FileName=%ファイル名%,RowNo=%行数%,Key=%主キー%)	ネットワークの接続または、中間ファイルが存在することを確認してください。

エラーコード	エラーメッセージ	対応方法
W.IAC.MIGRATION.FILE.00002	F_iac_fil_folder_inc input error.(FileName=%ファイル名%,RowNo=%行数%,Key=%主キー%)	ネットワークの接続または、中間ファイルが存在することを確認してください。
W.IAC.MIGRATION.FILE.00003	F_iac_fil_file input error.(FileName=%ファイル名%,RowNo=%行数%,Key=%主キー%)	ネットワークの接続または、中間ファイルが存在することを確認してください。

エラーコード	エラーメッセージ	対応方法
W.IAC.MIGRATION.FILE.00004	File size has a difference.(FileName=%ファイル名%,RowNo=%行数%,Key=%主キー%)	移行元と移行先の添付ファイルのファイルサイズを確認してください。
W.IAC.MIGRATION.FILE.00005	Transmission of a file went wrong.(FileName=%ファイル名%,RowNo=%行数%,Key=%主キー%)	実行ユーザの権限または、ディスクのサイズを確認してください。

エラーコード	エラーメッセージ	対応方法
W.IAC.MIGRATION.FILE.00006	folder_cd of IAC_FIL_FOLDER_INC for registration does not exist in IAC_FIL_FOLDER.(FileName=%ファイル名%,RowNo=%行数%,Key=%主キー%)	ファイルライブラリフォルダ内包のフォルダコードがファイルライブラリフォルダに存在するか確認してください。

エラーコード	エラーメッセージ	対応方法
W.IAC.MIGRATION.FILE.00007	folder_cd for taking in does not exist in IAC_FIL_FOLDER.(FileName=%ファイル名%,RowNo=%行数%,Key=%主キー%)	ファイルライブラリファイルのファイルコードがフォルダライブラリマスタに存在するか確認してください。
W.IAC.MIGRATION.FILE.00008	F_iac_fil_folder format error. (FileName=%ファイル名%,RowNo=%行数%)	中間ファイルの内容を確認してください。

エラーコード	エラーメッセージ	対応方法
W.IAC.MIGRATION.FILE.00009	F_iac_fil_folder_inc format error.(FileName=%ファイル名%,RowNo=%行数%)	中間ファイルの内容を確認してください。
W.IAC.MIGRATION.FILE.00010	F_iac_fil_file format error.(FileName=%ファイル名%,RowNo=%行数%)	中間ファイルの内容を確認してください。
W.IAC.MIGRATION.FILE.00011	All the topfolder data was rollbacked.(TopFolder=%トップフォルダ%)	中間ファイルの内容を確認してください。

エラーコード	エラーメッセージ	対応方法
W.IAC.MIGRATION.FILE.00012	An attached file does not exist. (Key=%主キー%)	移行元の添付ファイルが存在するか確認してください。（DBの抽出処理は行われます）
W.IAC.MIGRATION.FILE.00013	An attached file does not exist. (FileName=%ファイル名%,RowNo=%行数%,Key=%主キー%)	移行元の添付ファイルが存在するか確認してください。（DBの取込処理は行われます）

エラーコード	エラーメッセージ	対応方法
I.IAC.MIGRATION.CORE.00001	Migration data output processing was started. (FunctionID=%機能ID%)	−
I.IAC.MIGRATION.CORE.00002	Migration data output processing was completed. (FunctionID=%機能ID%,ElapsedTime=%経過時間%Sec)	−
I.IAC.MIGRATION.CORE.00003	Migration data input processing was started. (FunctionID=%機能ID%)	−
I.IAC.MIGRATION.CORE.00004	Migration data input processing was completed. (FunctionID=%機能ID%,ElapsedTime=%経過時間%Sec)	−
I.IAC.MIGRATION.SCHEDULE.00001	%トップカテゴリ% data output processing was started. (%現在位置%/%トップカテゴリ数%)	−
I.IAC.MIGRATION.SCHEDULE.00002	%トップカテゴリ%(master) data input processing was started. (%現在位置%/%トップカテゴリ数%)	−
I.IAC.MIGRATION.INFORMATION.00001	%トップカテゴリ% data output processing was started. (%現在位置%/%トップカテゴリ数%)	−
I.IAC.MIGRATION.INFORMATION.00002	%トップカテゴリ%(master) data input processing was started. (%現在位置%/%トップカテゴリ数%)	−
I.IAC.MIGRATION.INFORMATION.00003	%トップカテゴリ%(transaction) data input processing was started. (%現在位置%/%トップカテゴリ数%)	
I.IAC.MIGRATION.FILE.00001	%トップフォルダ% data output processing was started. (%現在位置%/%トップフォルダ数%)	−
I.IAC.MIGRATION.FILE.00002	%トップフォルダ%(master) data input processing was started. (%現在位置%/%トップフォルダ数%)	−
I.IAC.MIGRATION.FILE.00003	%トップフォルダ%(transaction) data input processing was started. (%現在位置%/%トップフォルダ数%)	

制限事項一覧

移行対象

アクセス権限の移行は対象外です。

- ISP 側で保持するアクセス権限の移行は対象外です。

移行注意点

移行に際して発生する文字化けは、JDBCドライバと文字コードのマッピング方式の差異によるものです。

- 移行に際して発生する文字化けについては、Javaの実装(SJIS,MS932,EUC等、文字コード毎の変換ルーチン)
  上の問題、およびJDBCドライバとJavaにおける文字コードのマッピング方式が異なることで発生します。

以下のデータベース環境での動作を検証済みです。

弊社では、以下のデータベース環境での動作を検証済みです。

- Oracle Database 11g Release 2
- Oracle Database 12c Release 1
- Microsoft SQLServer 2008 R1
- PostgreSQL 8.4
- PostgreSQL 9.1
- PostgreSQL 9.3

DBにNullが設定されていた場合、移行用の中間ファイルにブランクを設定します。

- 移行用の中間ファイルにブランクを設定するため、DB環境によっては、ブランクが設定される可能性があります。

移行先、移行元DBは同じ文字コードのみ対応しています。

- 移行先、移行元DBは同じ文字コードにのみ対応しています。

移行元_StorageServiceルートパスと移行先_StorageServiceルートパスが参照できなければ、 添付ファイルの移行が正常に行えません。

- 移行元、移行先をにネットワークドライブ、もしくは、ネットワーク越しにマウントをかけたパスを入力し、
  移行元_StorageServiceルートパスと移行先_StorageServiceルートパスが参照できなければ、添付ファイルの
  移行が正常に行えません。
  当移行ツールを実行する環境から、参照可能な環境へ、Storage Serviceフォルダをコピーしてください。

ログなどで出力する行数が実際の行数と一致しない可能性があります。

- 中間ファイルに空行が(手作業で)入力された場合、ログ等で出力する行数が実際の行数と一致しない
  可能性があります。

PostgreSQL 環境では、取込時にエラーが発生した場合のエラーファイルに、最初に発生したエラーのみ出力されます。

- PostgreSQL 環境では、トランザクション管理の仕様により、取込時にエラーが発生した場合のエラーファイルには
  最初に発生したエラーのみ出力され、エラーが発生したトップカテゴリもしくは、トップフォルダのすべての登録を
  ロールバックします。

設定ファイル(migration.properties)

日本語を使用できません。

- 設定ファイルに定義する値には、日本語を使用できません。

パスの指定に「￥」を使用できません。

- 設定ファイルに定義するパスの設定には、区切り文字に「/」のみを使用します。

掲示板

掲示板種別の終了日が過去のデータは、移行対象外です。

- 掲示板種別マスタの終了日付が過去の場合、掲示板種別とその掲示板種別に紐付く掲示情報は移行対象外です。

掲示板の種別フラグは、種別に関係ありません。

- 掲示板の種別フラグは、種別に関係なくカテゴリとして移行します。

本文のない記事については、そのタイトルを本文に登録します。

- 本文のない記事は、その記事のタイトルを本文に移行します。

インフォメーションカテゴリの表示順は新たに連番が割り振られます。

- インフォメーションカテゴリの表示順は、親カテゴリコード単位に1から連番を割り振ります。 連番は、移行元の掲示板種別マスタの表示順の昇順（NULLの場合は末尾）、掲示板種別名の昇順となります。 なお、連番が5桁を超える場合、移行先が5桁で定義されているため、「99999」として移行します。

スケジュール／施設

施設カテゴリの表示順は新たに連番が割り振られます。

- 施設カテゴリの表示順は、親カテゴリコード単位に1から連番を割り振ります。 連番は、移行元の施設グループマスタの表示順の昇順（NULLの場合は末尾）、施設グループ名の昇順となります。 なお、連番が5桁を超える場合、移行先が5桁で定義されているため、「99999」として移行します。

施設の表示順は新たに連番が割り振られます。

- 施設の表示順は、カテゴリコード単位に1から連番を割り振ります。 連番は、移行元の施設マスタの表示順の昇順（NULLの場合は末尾）、施設名の昇順となります。 なお、連番が5桁を超える場合、移行先が5桁で定義されているため、「99999」として移行します。

ファイルライブラリ

ファイルライブラリフォルダの表示順は新たに連番が割り振られます。

- ファイルライブラリフォルダの表示順は、親フォルダコード単位に1から連番を割り振ります。 連番は、移行元のドキュメント管理フォルダマスタの表示順の昇順（NULLの場合は末尾）、フォルダ名の昇順となります。 なお、連番が5桁を超える場合、移行先が5桁で定義されているため、「99999」として移行します。